

若年者ものづくり競技大会「ロボットソフト組込み」職種

2011年度版 無線LANの使用について

※記載内容は予告なく変更する場合がある。

1. はじめに

本大会では、トライアルとパフォーマンスにおいては無線LANを使用して競技する。無線LANは、外部アクセスポイントを使用し、Robotino用APのモードを「クライアントモード」に設定する。無線LANの情報量を分散させるために、3台の外部アクセスポイントを使い、通信チャンネルを1CH、6CH、11CHの3チャンネルに分ける。1つのチャンネルを2チームで共有する。

不要の電波を防止するために、ワークスペースでの無線LANの使用は禁止とし、有線LANで作業を行なうこと。

2. 機器の設定

- ① パソコンは通信条件を設定した状態で支給する。
 - 有線LAN時に使用する。
- ② Robotinoは競技委員会より指定されたIPアドレスで使用すること。
各チームへの割り当て表は、大会時に配布する。
- ③ 外部アクセスポイント
 - バッファロー社製 WAPS-HP-G54 AirStationPro 大会事務局準備
 - 使用チャンネル 1CH, 6CH, 11CH 予定。
 - 2アリーナにつき、1台で使用予定。: 3グループに分ける予定。
 - 接続経路はパソコン→HUB→外部アクセスポイント（各間はLANケーブル）
もしくは、パソコン→外部アクセスポイント（間はLANケーブル）で接続する。
- ④ Robotino AP（アクセスポイント）の設定
 - 競技大会 8月2日（火）: 開会式後に設定する。
 - 設定内容

Robotino APへパソコンから有線でアクセスしSSIDとch（チャンネル）を変更する。

グループ	SSID	ch（チャンネル）
1	RobotinoAPX.1	1 ch
2	RobotinoAPX.2	6 ch
3	RobotinoAPX.3	11ch

- 競技終了後設定は元へ戻す。

3. 留意すべき点

- ① 外部AP（アクセスポイント）をマルチで使用するため、通信中にタイムラグが生じる可能性がある。選手はそのことに留意しプログラミングを行なうこと。
- ② 会場においては、公衆およびプライベートな無線LAN等の電波干渉の影響は否定できない。
競技において、無線LANから有線LANへの変更は任意とする。

4. 選手側で準備するもの

- ① LANケーブル 10m: 1本、5m: 2本を推奨する。